

# 平和構築分野の人材育成構想

外務省総合外交政策局

国際平和協力室

首席事務官 坂田奈津子

# 目次

- ◆ 平和構築とは
- ◆ わが国のアプローチ（開発協力と安全保障）
- ◆ 人材育成の需要・政策目標・派遣との連携
- ◆ 具体的な研修事例
- ◆ 寺子屋プロジェクトの特色
- ◆ 日本人応募者の弱点を克服するには・・・

## 平和の定着

紛争の再発防止を目的とする支援

### (1) 和平プロセスの促進

- 外交調停や紛争当事者との対話
- 選挙支援

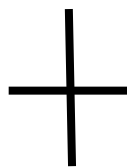
### (2) 人道・復旧支援

(人々の平和な生活の回復)

- 難民・国内避難民支援
- 基礎インフラの復旧

### (3) 国内安定・治安の確保

- 国内治安制度の構築
- 対人地雷の除去
- DDR



## 国づくり

### (1) 政治的枠組の構築(ガバナンス)

- 民主的な政治制度(選挙制度など)の整備
- 行政組織の整備
- 警察・司法制度の整備(文民警察への支援など)

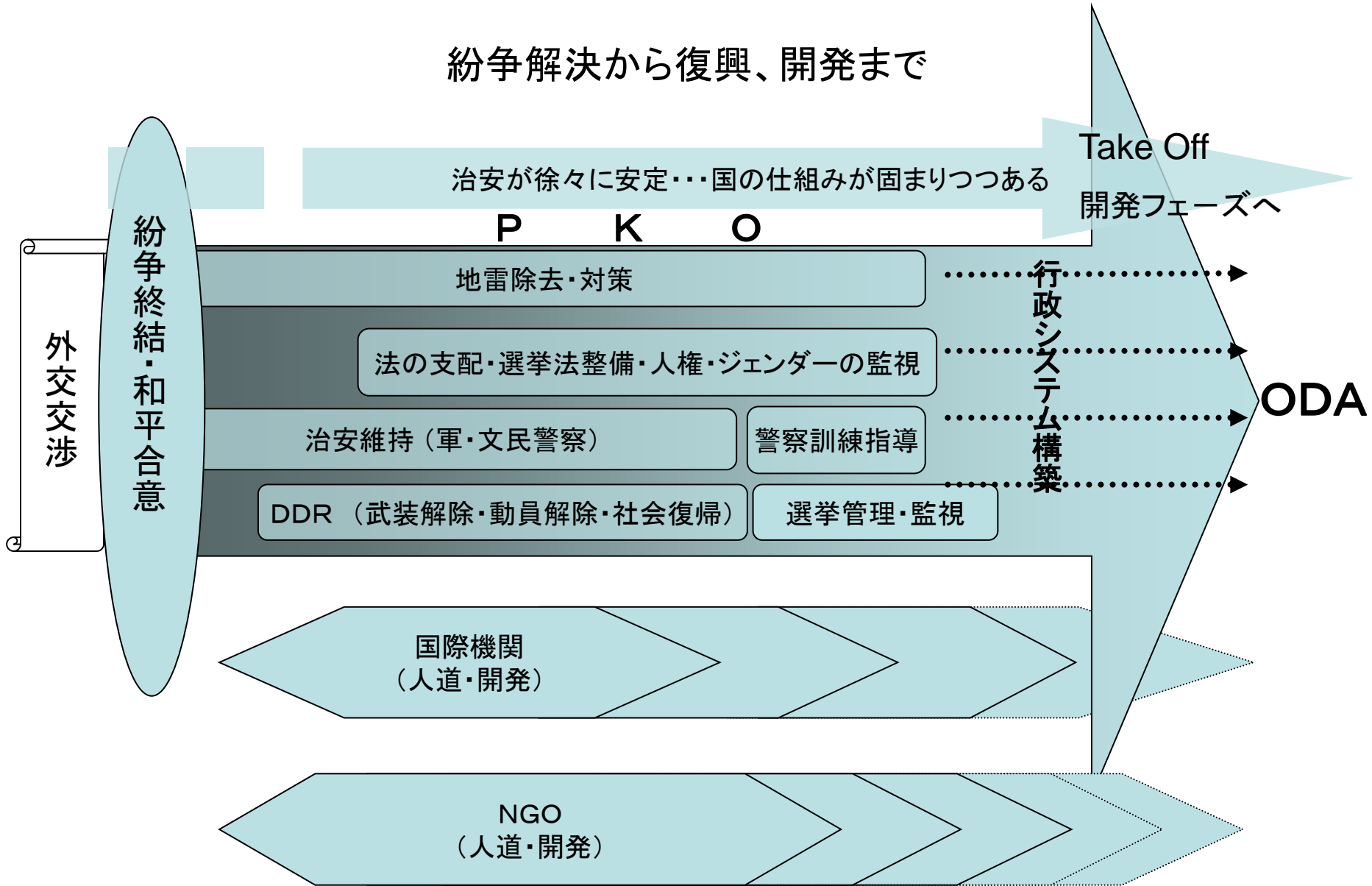
### (2) 経済的枠組の構築(経済基盤整備)

- 経済・金融制度の整備
- 経済インフラの整備  
(道路・港湾・橋梁・通信施設など)

### (3) 社会的枠組の構築(社会基盤整備)

- 基礎インフラの整備  
(保健医療、教育、上下水道等の施設整備)
- 教育・職業訓練制度の整備
- 人権・ジェンダー平等の確保
- メディア支援

# 紛争解決から復興、開発まで



# ODAと平和構築(限界)

## 国際的議論

### ODAとはなにか(OECD/DAC(開発援助委員会)の定義)

政府開発援助とは以下の三つの要件を満たす資金の流れを指す。

- (1) 政府ないし政府の実施機関によって供与されるもの
- (2) 開発途上国の経済開発や福祉の向上に寄与することが主目的
- (3) 資金協力については、グラント・エレメントが25%以上

### 現在DAC上でODAとされている紛争・平和構築・治安関連支出

- ① 治安関連支出の管理、② 治安制度における市民社会の役割強化
- ③ 児童兵の徴兵防止のための政府向け技術協力と市民社会組織への支援、④ 治安制度改革(議会・中央官庁・法執行機関・司法当局に提供される技術協力)、⑤ 文民による平和構築、紛争予防、紛争解決、⑥ 小型武器拡散の管理・防止・削減のための技術協力

## 国内

### ODA大綱(援助実施の原則)

- (2) 軍事的用途及び国際紛争助長への使用を回避する。

# 日本の実施できる平和維持関連の活動 (国際平和協力法第3条第3項)

- イ 停戦監視
- ロ 駐留・巡回
- ハ 武器の検査・確認
- ニ 放棄武器の収集・保管・処分
- ホ 停戦線の設定の援助
- ヘ 紛争当事者間の捕虜の交換の援助
- ト 選挙監視・管理
- チ 警察行政事務の助言・指導・監視
- リ 行政事務の助言・指導
- ヌ 医療
- ル 被災民の捜索・救出・帰還の援助
- ヲ 食糧、衣料、医薬品などの配布
- ワ 被災民を収容するための施設・設備の設置
- カ 被害を受けた施設などの復旧・整備
- コ 自然環境の復旧のための措置
- ク 輸送、保管(備蓄を含む。)、通信、建設又は機械器具の据付け、検査・修理
- ケ その他政令で定める業務

自衛隊員のみ

# 伸び悩む邦人職員数

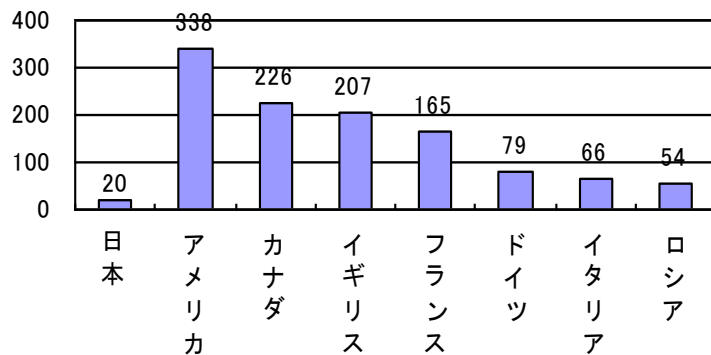
グローバルな舞台で活躍する日本人の現状・・・

○  
○  
○

【国連PKO・政治ミッションにおける文民職員数】 【国連における望ましい職員数と邦人職員】

文民職員数(人)(2005年末時点)

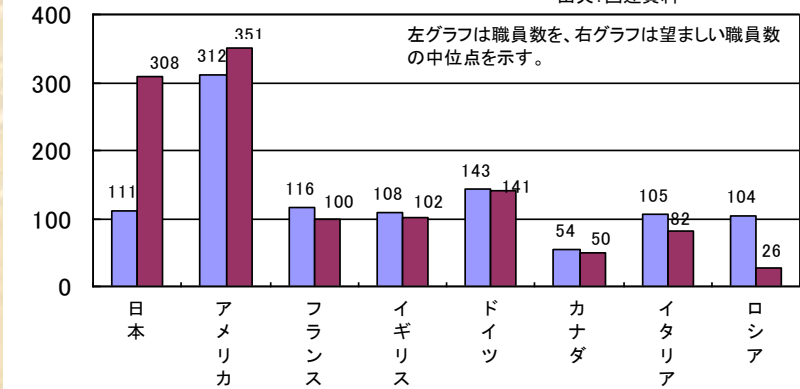
出典:国連資料



国連事務局における職員数及び「望ましい職員数」

職員数(人)

出典:国連資料



(日本は、事務次長クラス3名(松浦UNESCO事務局長他)、事務次長補9名(尾身WHO西太平洋地域事務局長他)の幹部職員を送り込んでいる。)

## 世界的なニーズの急増

- 冷戦後、国連PKOは、国内紛争の増加等により数が急増し、任務も多様化(※)。
- 紛争終結から復興までを、切れ目なく包括的に取り組む必要性の増大。(国連平和構築委員会の設立)

(※) 1990年以降に設立されたものだけで全体の約7割。停戦監視にとどまらず、選挙支援や行政制度も任務に。

平和構築のための文民による取組の必要性

## 人材育成を巡る外交上の政策目標

### (1) 国際秩序形成への積極参画

- ・ 平和国家日本として、平和構築のあらゆる段階でプレゼンスを示し、リーダーシップを発揮。

### (2) 対アジア・アフリカ外交の推進

- ・ アジアは、平和構築支援を必要とする地域を抱える一方、自らも平和構築の知見・経験を蓄積。日本のリーダーシップの下でアジア域内協力を推進し、平和構築分野におけるアジアの貢献・能力を向上。
- ・ アフリカは、平和構築支援のニーズが最大。アジア諸国と共にアフリカ支援を推進。

### (3) 対国連外交の推進

- ・ 国連の主要関心事項である平和構築分野における貢献を通じ、対国連外交を推進。

(※) 従来からの我が国の国際貢献は、ODAをはじめ復興段階が主力。他方、紛争直後に展開するPKO等への人的貢献(顔の見える支援)は乏しい。

平和構築分野で活躍できる人材の育成こそが重要。

(国際平和協力懇談会報告書(平成14年)、人材育成検討会の提言(平成16年))



# 平和構築分野で活躍する人材の能力向上と派遣体制の整備

## 【人材の能力向上】

### 【ポイント】

- 最先端の知見・情報の組織的集約
  - ・内外より第一級の実務者を講師に招き、知見・情報を「拠点機関」に集約（ハブ化）。
- 個々人の能力向上による国際競争力の強化
  - ・実践重視のカリキュラムと現場での実務研修。
- オールジャパンの取組に向けた成果の共有
  - ・政府諸機関やNGO等の国内の幅広い層に成果を提供。

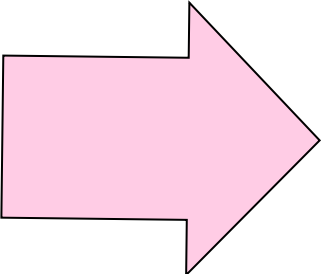
能力を身につけた人材のキャリア・プランを支援  
（活躍の場を確保）

## 【派遣体制の整備】

### 【ポイント】

- 就職情報の迅速入手
  - ・PKOミッション、国際機関等との協力を通じた就職先の開拓。
  - ・ポスト等に関する具体的情報を迅速に入手・提供。
- 政府を中心としたきめ細やかな後押し
  - ・就職に係る助言制度を導入。
  - ・政府からも派遣実現のための働きかけを個別実施。

平和構築分野でのキャリアへの関心の一層の高まり

- 
- 安倍総理は、日比首脳会談で「平和構築分野の人材育成構想」を表明
  - 外務省は、平成19年度にパイロット事業（＝「寺子屋」事業（※））を開始

（※ 平成18年8月の麻生外務大臣政策スピーチ「平和構築者の『寺子屋』を作ります」参照）

## 講義・演習のイメージ(SWEDINTの例)

(※)すべて英語、PKO出身講師を含む、実践性・集団研修

### 【カリキュラム】

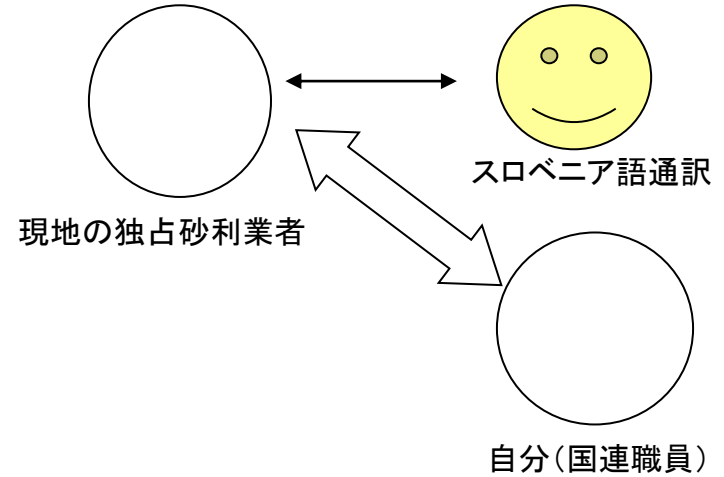
- (1) 国連の歴史、PKOの創設課程
  - (2) ミッション内の調整・連携
  - (3) 副特別代表(DSRSG、人道担当)等の幹部要員の役割
  - (4) 主要な国際機関(UNHCR、ICRC、OSCE等)
  - (5) 国際法、人権・人道法
  - (6) ジェンダー、児童の保護
  - (7) 通訳を使った交渉技術(含む実技)→(別紙1)
  - (8) 安全対策・情勢認識
  - (9) メディア対応
  - (10) 現地文化の理解
  - (11) 選挙支援(含む選挙管理)
  - (12) 文民警察
  - .....
- 以上を踏まえたミッション創設・企画立案調整のシミュレーション→(別紙2)

各要員が必要とする知見・能力には、共通する事項が多い。

# SWEDINTにおける、通訳を使った交渉技術(グループ実習(I)) (別紙1)

## 【設定その①】(制限時間20分)

▼あなたは調達担当の国連オフィサーです。通訳を使って地元の独占砂利業者(Gravel King)からQIP用の道路舗装砂利を600m<sup>3</sup>購入すべく交渉してください。予算は上限\$8/m<sup>3</sup>(輸送費を含む)です。なお、現地のNGOによれば、砂利のおおよその市場価格は\$5/m<sup>3</sup>とのこと。



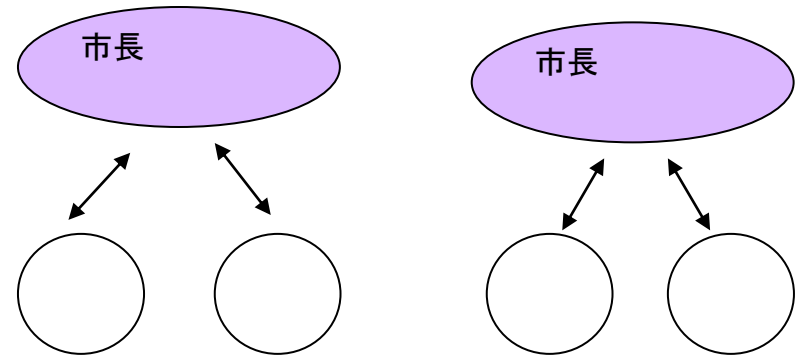
### 反省点の例

- ・現地語「通訳」に勝手にしゃべらせない(主役は自分と交渉相手。「通訳」が交渉相手と癒着し交渉内容を操作している可能性あり)
- ・「通訳」はあくまで自分の影。「通訳」の顔を見ながらしゃべらない(⇒自信がない=交渉ポジションが弱くなる。また相手に失礼)
- ・できない約束(例:「安くしてもいいが他の客を何人か紹介しろ」)はしない(⇒信用を失う、借り(弱み)をつくり中立性を失う)
- ・交渉相手や現地文化・流儀に対し丁寧に対応すべし。相手のホスピタリティーを無下(例:出された現地特産飲食物を拒否)に扱わない。

## 【設定その②】(制限時間20分)

▼あなたは着任したてのミッション・チーフです。地元市長に着任表敬するとともに、信頼関係を構築し、次回のアポイントメントを約束してきてください。

なお、その際にはあなたの上級政治顧問(又は秘書)が同行します。



(事例1) PKO幹部 上級政治顧問

(事例2) PKO幹部 秘書(女)

### 反省点の例

- ・相手はわざと弱みを突いてくる(⇒国連嫌いor介入排除)。おだてられて(例:君は男前だね/ミッション幹部と秘書の女性が結婚することが多いと聞くけど、あなた方はどうかい?)真っ赤/真っ青になる or 恫喝されてもひるまず、冷静に対応すべし。

# SWEDINTにおける総合演習(実習(Ⅱ))

ある紛争地域(BOGALAND(仮称))における国連ミッション(UNMIB)の展開



## 【設定】

▼民族複合国家Bogaland北部地域における騒擾がUNミッション(UNMIB)の展開により収まったのも東の間、南部地域VALLAで民族起因の緊張が高まり死傷事件が発生。停戦合意不履行と近隣国KASURAの介入が危ぶまれる中、UNMIBのBogaland全土展開が安保理で決定される。これを受けて、UNMIBのスタッフは「Force South」設立に向けた準備にとりかかる。

## 【課題】

▼UNMIB各部門の幹部スタッフとして

- ①部下に指示すべき作業のガイダンスを作成
- ②ミッション幹部会合・第一回への参加準備(提言作成)
- ③ミッション幹部会合・第二回への参加準備(提言作成)
- ④情勢認識／見通しやリソース・アセスメント等を通じ提言し、措置(Course of Action)を特定、「Force South」展開へ

# 寺子屋プロジェクトの特色

特色1:カリキュラム  
(紛争・安全・実践を意識)

特色2:講師と受講形態  
(国際競争・高水準を意識)

特色3:派遣や採用  
(採用へのアクセスを意識)

特色4:地域ネットワーク化  
(平和構築の担い手と連携)



# 日本人応募者の弱点

- ◆ 情報不足
- ◆ ネットワーキングの弱さ

## 【書類審査段階】

- ◆ 語学力
- ◆ フィールド経験
- ◆ 理論的知識と応用  
(専門性の強化・活用)
- ◆ 安全対策意識
- ◆ 緊急事態対応型の知識・スキル

## 【面接段階】

- ◆ 面接不慣れ
- ◆ 語学力を含む、自己プレゼンテーション
- ◆ コミュニケーション能力
- ◆ 異文化理解能力

